

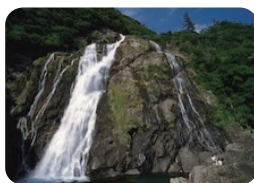
屋久島の自然

◆屋久杉自然館◆

屋久島の森をテーマにした森の博物館。屋久杉をはじめ、屋久島の植物や森林の成り立ちなどを、ジオラマやCGを駆使して解説しています。屋久島の森を歩くなら、ぜひ観ておきたい博物館です。

◆ヤクスギランド◆

安房集落から15kmの広大な森にハイキングコースを設定。林内はいくつものコースに分れ、ヤクスギ林帯を代表するスギ、ツガ、モミなどの大木が見られます。



ご旅行条件（一部抜粋）

旅行条件の詳細は「旅行業約款」（募集型企画旅行契約）によります。この旅行は2022年11月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除

参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の13日前迄にお知らせします。

<取消料>

お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

<解除時期・取消料>

契約の解除期日	取消料
旅行開始日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日以降	旅行費用の40%
旅行開始当日の解除	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

お申込みからご出発まで

①同封の「国内旅行取引条件書」をご一読ください。

条件確認後、申込書にもれなくご記入の上、富士国際旅行社あてに郵送、fax、メールにてお送りください。

②申込金20,000円（旅行費用内金）又は旅行費用全額を富士国際旅行社宛に下記郵便 振替口座へ振込みにてお支払いください。（申込書と申込金の到着をもって申込成立）

郵便振替口座番号 00140-4-39332
加入者名 株式会社 富士国際旅行社

恐れ入りますが、振込手数料は各自ご負担願います。なお、大変恐縮ではございますが、金融機関振込票のお客様控をもって領収書に代えさせていただきますので、ご了承ください。（領収書の郵送が必要な方は弊社までご連絡ください）

③ツアー実施が確定しましたら、弊社よりご連絡いたします。

④ご出発の約10日前には出発当日のご案内や日程の詳細などのご旅行資料を送付いたします。

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの

①企画手配料・及び手配料金

②交通費：旅程に明示した航空機（エコノミークラス）、高速船代

③宿泊費：2～3名様1室基準、税、サービス料含む。

④食事代（朝3回 昼3回 夕3回）⑤視察費用：手配料

⑥手荷物運搬料：一人1個、15Kgまでの手荷物運搬料金

⑦見学費用：旅程表に明示した市内の見学のガイド料、入場料（自由時間は除く）⑧旅行傷害保険（死亡1000万円、入院1日当たり6000円通院1日当たり4000円）⑨航空特別保険、羽田空港施設使用料⑩添乗員同行の費用：1名 ⑪講師謝礼

■旅行代金に含まれないもの

①旅程に記載のない行動をされる場合の宿泊、交通費、食事、及び個人的に購入（お土産、飲食等）したもの。

■お部屋割り

基本は2名～3名様部屋になります。お一人部屋は追加料金（24,000円/3泊）が別途必要です。

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業84号（社）日本旅行業協会正会員

株式会社 富士国際旅行社

TEL:045-212-2101 FAX:045-212-2201

henshu@fits-tyo.com 担当：山田・金光・小山

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4

総合旅行業務取扱管理者：西須 輝理

営業時間：火～木曜日／AM10:00～PM4:00
（土曜・日曜・祝日は休ませていただきます。）
ホームページ：http://www.fits-tyo.com/

株式会社 富士国際旅行社 宛

●別紙、取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報提供について、同意の上、当旅行に申し込みます。

参加申込書

種子島・屋久島 平和交流の旅

①12月11日（日）発 ②1月23日（月）発

ふりがな		性別	年齢	電 話	() —
氏名		男 女	歳	F A X	() —
住所	(〒 —)			携 帯 番 号	() —
生年月日	年 月 日 生			e - m a i l	
勤務先 あるいは 国内 連絡先	連絡 先名 (続柄:)			お部屋割り について (旅行中)	1人部屋を希望【 する・しない 】追加¥24,000 2～3人部屋、同室希望の方: 様
	住所 電 話 () —			旅行社への 連絡事項	アレルギーがある方、健康状態など旅行社へ連絡事項がある場合 記入ください。 ()



※写真は全てイメージです

旅行期間

全国旅行支援割対象期間

① 2022年 12月11日(日)～12月14日(水) 4日間

② 2023年 1月23日(月)～1月26日(木) 4日間

旅行代金

169,000円（羽田空港発着）

※上記は、羽田空港発着の旅行代金です。
羽田空港以外の発着・現地参加ご希望の方は
お問合せ下さい。

※①の期間は全国旅行支援割の対象です。
24,000円の割引と9,000円のクーポンがつかます。

定員 20名（最低実施人数10名）

申込締切 ①11月21日（月）
②1月3日（火）

添乗員 羽田から同行します

企 画・実 施

株式会社 富士国際旅行社

旅の魅力

- ◆軍事施設化が進む馬毛島について地元の方からじっくりお話を伺います
- ◆日米共同訓練が行われた旧種子島空港跡地を見学
- ◆鉄砲館や種子島宇宙センターを見学、島の魅力に迫ります
- ◆種子島・屋久島の自然と、新鮮な海の幸もお楽しみ下さい♪

日程表 2022年・2023年 種子島・屋久島 平和交流の旅 4日間									
	日次	曜	都 市	時 刻	交通機関	摘 要	〈宿泊地〉	食事	
①	12/11 1/23	日 月	東京・羽田空港発 鹿児島空港着 鹿児島港発 種子島着	午前 午後 タ刻	航空機 高速船	羽田空港より鹿児島空港へ（羽田空港集合8:00予定） 鹿児島より高速船で種子島へ ＊種子島開発総合センター鉄砲館 夕食交流会		朝× 昼× タ○	
②	12/12 1/24	月 火	ホテル発 ホテル着	午前 午後 タ刻	専用車	地元漁師の方と交流 ＊陸から馬毛島見学 昼食 中種子町見学 ＊増田戦跡（旧海軍航空隊種子島基地跡） ＊旧種子島空港跡地（全国初の民間地を使用した日米共同訓練が行われた場所） ＊門倉岬		朝○ 昼○ タ○	
③	12/13 1/25	火 水	ホテル発 種子島発 屋久島着 ホテル着	午前 午後 タ刻	専用車 高速船	種子島内見学 ＊種子島宇宙センター ＊マングローブパーク 種子島より高速船で屋久島へ 昼食 ＊屋久杉自然館見学 ＊ヤクスギランド散策 チェックイン		朝○ 昼○ タ○	
④	12/14 1/26	水 木	ホテル発 屋久島発 鹿児島空港着 鹿児島空港発 東京・羽田空港着	午前 昼頃 タ刻	専用車 航空機 航空機	＊FCLP問題が屋久島に及ぼす影響について地元の方からお話を伺います 昼食 屋久島より航空機で鹿児島へ 空路、帰途へ 羽田空港到着（18:30頃到着予定）		朝○ 昼○ タ×	
朝＝朝食付、昼＝昼食付、タ＝夕食付、機＝機内食、弁＝弁当、X＝自由食									

利用予定航空会社：全日空（ANA）、日本航空（JAL）、日本エアコミューター（JAC） 利用予定バス会社：井元観光、まつばんだ交通
利用予定ホテル：【種子島】ホテルレクストン種子島、ホテルニュー種子島、いわさきホテル【屋久島】田代別館

種子島紹介

種子島は、九州本土の最南端佐多岬から南東方向約40kmの洋上に位置する細長い島です。周囲166km長さ58km、最大幅12km、島の最高点は282mと平坦な島で、隣の屋久島と対照的な地形をしています。鉄砲伝来の島として知られ、また国内唯一の実用衛星打ち上げ基地のある宇宙科学先端の島でもあります。近年、12km離れたところに位置する馬毛島が米軍の空母艦載機離着陸訓練（FCLP）の恒久施設の候補地に挙がり、地元は賛否に揺れ続けています。

訪問地紹介

◆種子島開発総合センター鉄砲館

1543年にポルトガルから伝わった銃や国内外の旧式銃丁、国産第1号銃などが展示されています。また、館内には種子島ならではの文化を紹介したジオラマもあり、種子島の総合的な歴史が分かる資料館となっています。

◆旧種子島空港跡地

中種子町に所在していた第3種空港。2006年、新しい空港の開港と同時に使用廃止となりました。2018年には滑走路の跡地を利用して全国初の民間地を使用した日米共同訓練が行われています。

◆種子島宇宙センター

種子島東南端の海岸線に1969年に開設され、総面積970万㎡の広大な敷地の中に、ロケットの発射場、総合指令棟、組立棟などの関連施設が整備されています。これらの設備で、人工衛星の最終チェックからロケットへの搭載、ロケットの組み立て・整備・点検・打ち上げ、打ち上げ後のロケットの追跡まで一連の作業を行っています。

ご参加お待ちしております！

馬毛島FCLP問題とは

馬毛島は種子島の12km西に浮かぶ無人島です。過去にさまざまな開発計画が浮かんでは消えましたが、2011年6月の日米安全保障協議委員会（2プラス2）の共同文書にFCLPの移転候補先として明記され、防衛省による戦闘機のデモ飛行などが開始されています。

『馬毛島漂流』石風社
矢板 俊輔 著
種子島在住の元新聞記者（現西之表市長）が島に渡り、歩き、喰い、時には遭難して知った馬毛島の今を、短歌と写真を添えて伝えるルポタージュ。